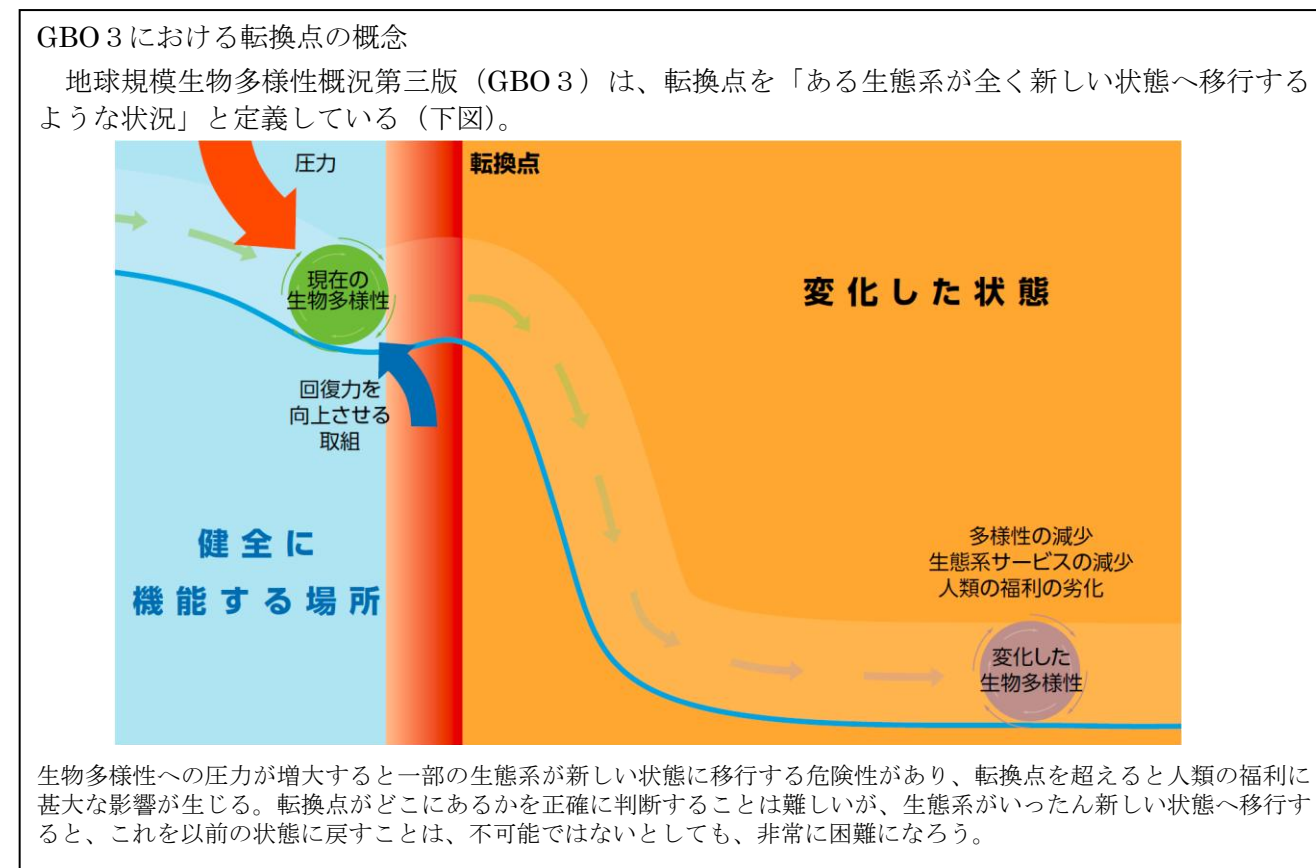


生物多様性の損失への対応

- わが国でも将来にわたる生物多様性の損失が懸念されており、「転換点」(tipping point)によって不可逆的な変化が生じるおそれも指摘されている。
- 間接的・直接的要因を踏まえた長期的な対応が求められている。

転換点 (tipping point)



出典：生物多様性条約事務局, 2010: 地球規模生物多様性概況第三版 (GBO3) より引用

わが国において不可逆的な変化を引き起こすおそれのある損失の例

生態系区分	損失の例
森林生態系	高山帯への地球温暖化の影響 人工林の管理不足による斜面崩壊等の影響 シカの個体数増加・分布拡大による森林植生の破壊の影響
陸水生態系	河川における連続性の低下や河床低下の影響 河川・湖沼等における侵略的外来種の影響 湖沼における地球温暖化の影響
沿岸・海洋生態系	沿岸生態系への開発・改変などの複合的な影響 (海砂利採取を含む) サンゴ礁への地球温暖化の影響
島嶼生態系	島嶼における侵略的外来種の影響

出典：環境省生物多様性総合評価検討委員会, 2010: 生物多様性総合評価報告 (JBO) より引用

2010年以降の生物多様性の損失への対応 (JBOによる評価)

現在想定されている将来の変化	懸念される生物多様性の損失	長期的な対応の方向
<ul style="list-style-type: none"> 人口減少 低成長 食料・木材・エネルギーの国外依存 宅地・工業用地、社会資本等の充足 	<p>第1の危機による損失</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・改変の速度はさらに低下するが、過去に行われた開発・改変の影響は継続 既存の住宅・産業施設・社会資本の維持・更新のための原料採取等の開発・改変が継続 不可逆的な変化のおそれ (例) <ul style="list-style-type: none"> ○河川の連続性の低下の影響 ○河床低下の影響 ○沿岸生態系における開発・改変などの複合的な影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護地域などによって新たな開発・改変の抑制を図るとともに、過去の大きな損失を回復 <ul style="list-style-type: none"> ・自然再生や事業実施時の配慮に関する技術的検討 ・全国・地域の様々なスケールでの生態系ネットワークの構築 ○影響評価、影響の回避や修復の手法・技術の開発 ○沿岸・海洋の保全、小規模でも重要な生息地・生育地の保全 など
<ul style="list-style-type: none"> 農山村の過疎化・高齢化のさらなる進行 捕獲圧の低下 	<p>第2の危機による損失</p> <ul style="list-style-type: none"> 里地里山の管理・利用はさらに低下して影響が深刻化 中大型哺乳類の個体数増加・分布拡大が加速 不可逆的な変化のおそれ (例) <ul style="list-style-type: none"> ○人工林の管理不足による斜面崩壊等の影響 ○シカによる森林植生の破壊の影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の合意形成に基づく持続可能な利用・管理の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・里山バイオマスなど新たな利用方法の模索 ・都市住民や企業など多様な主体の参加の促進 ○一部の二次林の自然林への積極的な移行 ○重点的に管理できる場所を絞ってコストを投入 ○広域的な視点からの鳥獣の個体群管理
<ul style="list-style-type: none"> 国際的な人や物の移動がさかんな状態が継続 	<p>第3の危機による損失</p> <ul style="list-style-type: none"> 非意図的なものを含む外来種の侵入機会・既に定着した種の分布拡大の傾向はある程度継続 不可逆的な変化のおそれ (例) <ul style="list-style-type: none"> ○湖沼や島嶼の侵略的外来種の影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○移動の制限の継続 ○新たな侵入の予防と既に定着した種の防除の重点化 ○防除の技術開発
<ul style="list-style-type: none"> 気温上昇等の傾向が継続 	<p>地球温暖化の危機による損失</p> <ul style="list-style-type: none"> 脆弱な生態系では不可逆的な影響が生じるおそれ 不可逆的な変化のおそれ (例) <ul style="list-style-type: none"> ○サンゴ礁・高山植生への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○モニタリング体制の強化と脆弱性の評価 ○適応策の具体化と実施

○不可逆的な変化に対応するための、モニタリングの継続・充実と予防的な対策の充実

出典：環境省生物多様性総合評価検討委員会, 2010: 生物多様性総合評価報告 (JBO) より引用